

【対象：経皮的冠動脈インターベンションを受けられ、バルーン拡張前に VH-IVUS 解析による血管内エコーをされた患者様へのお知らせ】

当院では、近畿大学医学部奈良病院倫理委員会の承認を得て、「経皮的冠動脈インターベンション (PCI) におけるバルーン拡張圧と病変の VH-IVUS 所見の関連についての臨床研究」を行います。

PCI では、標的病変をバルーンカテーテルで拡張するにあたり、硬化の強い病変ほど高圧でないと拡張しないのですが、高圧になるほど血管解離のリスク、ひいては冠動脈閉塞のリスクが高まるため、本調査研究では VH-IVUS を用いた血管内エコー所見から、このような高リスクの病変を拡張前に見いだすことを目的としています。

対象は、PCI において、初回バルーン拡張前に病変の血管内エコー (IVUS) 像が撮像できた患者様です。

調査方法は得られた VH-IVUS 像を用いて、病変の組織的性状を分析し、カルテおよび血管造影の記録から関連する臨床的因子を知るため、統計的解析を用いて後ろ向きに分析します。

当院での調査期間は 2008 年 8 月から 2025 年 3 月までの予定です。

1. 本研究は治療に関する介入はなく、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。血管内エコー検査は通常手術の施行時に行われている検査であり、特別な手技や費用が加わることはありません。
2. 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。情報は削除されます。

問い合わせ先：近畿大学医学部奈良病院 循環器内科 教授 城谷 学

TEL：0743-77-0880

FAX：0743-77-0890